

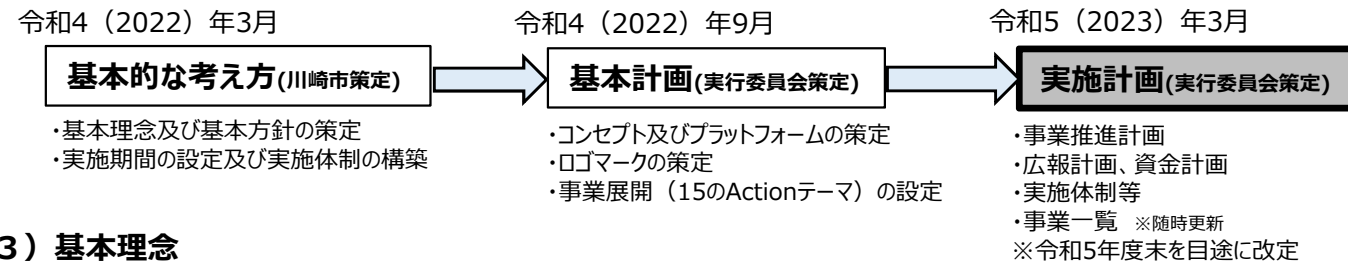
令和6（2024）年7月1日に迎える市制100周年という歴史的な節目に向けて、令和4（2022）年9月に策定した基本計画「Colors, Future! Actions ガイド」に基づき、記念事業を進めるにあたっての各種計画や実施される事業などをまとめた実施計画「Colors, Future! Actionsプラン」を令和5（2023）年3月に策定します。市は、実施計画を策定する川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会の一主体として、記念事業を一過性のイベントとせず、記念事業で生まれた新たな活動や価値から川崎の文化や未来をつくりだし、この先100年に向けた市の成長の機会とする事業としていくため、計画策定に向けて、実行委員会と連携して取り組んでまいります。

1 計画の概要

(1) 計画の目的と位置づけ

記念事業を進めるにあたっての各種計画や実施される事業などをまとめたもの

(2) 計画の体系



(3) 基本理念

川崎市は、多様なバックグラウンドや価値観、能力を持つ人たちが、共に暮らし、働き、そして互いに認め合い、支え合い、高め合うことで発展してきました。

市制100周年という歴史的な節目に、先人の努力や功績に感謝し、時代とともに変貌してきた川崎市のこれまでのあゆみや歴史・文化を知り、**川崎市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有**し、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とします。

さらに、将来にわたって、誰もが暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へとつなげていくため、この契機を**未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートライン**とします。

(4) 基本方針

- 川崎市ブランドメッセージへの共感を喚起する。
- 新たな100年に向けて、文化として根付くムーブメントを起こす。
- 市民一人ひとりのシビックプライドを醸成する。

(5) 実行委員会の設立

オール川崎市で取組を進めるため、さまざまな企業・団体・川崎市等で構成される「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立

(6) コンセプト

川崎市ブランドメッセージ「Colors,Future! いろいろって、未来。」



(7) プラットフォーム「Colors,Future! Actions」

記念事業のコンセプトを具現化する場の設定や活動を記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設けます。



(8) プラットフォーム・ステートメント

ステートメントを通じて、一人ひとりの好きを掛け合わせることで、多様で多彩な「Action」を記念事業で生み出していくための想いを共有していきます。



(9) 15のActionテーマ

「Colors,Future! Actions」に関わるさまざまな主体が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんなActionができそうか企画・検討しやすくするために、「より川崎をよくする」取組の“目印”を15個示して、「Actionテーマ」として設定します。



15のActionテーマ

(10) Actionテーマ使用イメージ

生み出されたさまざまな「Action」には、関連するActionテーマをラベリングし、テーマごとにまとめて、実行委員会公式WEBサイト等で分かりやすく発信します。

(11) 記念事業ロゴマーク

記念事業のコンセプトでもある川崎市ブランドメッセージのロゴマークと一体的に使用できる記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」のロゴマークを制作し、記念事業のシンボルとして広くPRします。



記念事業ロゴマークと川崎市ブランドメッセージ

(12) 記念事業期間

記念事業期間：令和6（2024）年4月1日～令和7（2025）年3月31日

それ以前についても、準備期間として、市制100周年に向けて川崎市全体の機運を高めるためのPR事業等の実施や記念事業に向けたさまざまな活動等を行います。

(13) 時期ごとの目的・事業

準備期間におけるPR事業やActionを特に区別して呼ぶ場合は、「プレ事業」とします。

| | 準備期間（令和5(2023)年度） | 記念事業期間（令和6(2024)年度） |
|--------|---|---------------------------------------|
| 目的 | 「川崎を知ろう」 | 「記念事業に関わって」→「川崎を好きになろう」 |
| PR事業 | 川崎市が市制100周年を迎えること等を広く周知するPRを中心に実施（プレ事業） | 多彩なActionの取組を広報し、記念事業に関わってもらうPRを中心に実施 |
| Action | 令和6年度の記念事業実施に向けて先導していくAction（プレ事業） | 記念事業のコンセプトを踏まえた多彩なAction |

2 事業推進計画

(1) 市制100周年記念事業に取り組む視点

基本理念や基本方針、コンセプトを踏まえ、次の100年に向けた多様で多彩なActionを生み出していくにあたり、次の4つの視点により記念事業を進めていくこととします。

【視点1】 共創による社会課題の解決と未来への挑戦

市民、企業、団体等との共創により、行政だけでは解決しにくい社会課題の解決を図るとともに、川崎からはじまる新しい未来や文化を創造するきっかけとなるさまざまな可能性に挑戦します。

【視点2】 川崎を好きになる事業の展開

多くの市民が、川崎市の歴史や魅力、多様性の価値を知りながら、関わっていくことで、川崎市への愛着が次々に生まれ、「好き」があふれる川崎を生み出していききっかけとなる事業を展開します。

【視点3】 これからの100年を担う若年層を中心とした「あたらしい川崎」を生み出す取組の展開

これからの100年を担う若年層を中心に、一人ひとりが川崎の未来を考え、川崎の未来のために行動し、「あたらしい川崎」を生み出していけるような取組を進めます。

【視点4】 市民、企業、団体等を巻き込む取組の実施

令和7年度以降の取組の活性化も見据え、実行委員会や川崎市が先導し、基本理念に賛同する市民、企業、団体等自らが、主体的に市制100周年を祝い、盛り上げていけるよう取組を進めます。

(2) 記念事業の分類

以下の4つの事業により実施していきます。それぞれの主体が連携し、関連しながら事業を展開します。

| | ①実行委員会 主催事業 | ②川崎市 主催事業 | ③実行委員会 参画団体主催事業 | ④パートナー 主催事業 |
|------|----------------------|--------------|--------------------|--------------------------------|
| 事業主体 | 実行委員会 (幹事会・共同事務局) | 川崎市 | 実行委員会 参画企業等 | 趣旨に賛同する市民、団体、企業等 (実行委員会非所属) |
| 実行予算 | 実行委員会予算 | 川崎市予算 | 原則、各企業等の負担 | 市民・各企業等の負担 |

【具体的なプロジェクト(事業)のイメージ】

市民、企業、団体など多様な主体が関わりながら、多くの市民が川崎を好きになるきっかけとなる事業を創出し、それが文化として続いていくような事業を展開していきます。
複数のActionテーマが関連するような事業を数多く生み出していきます。



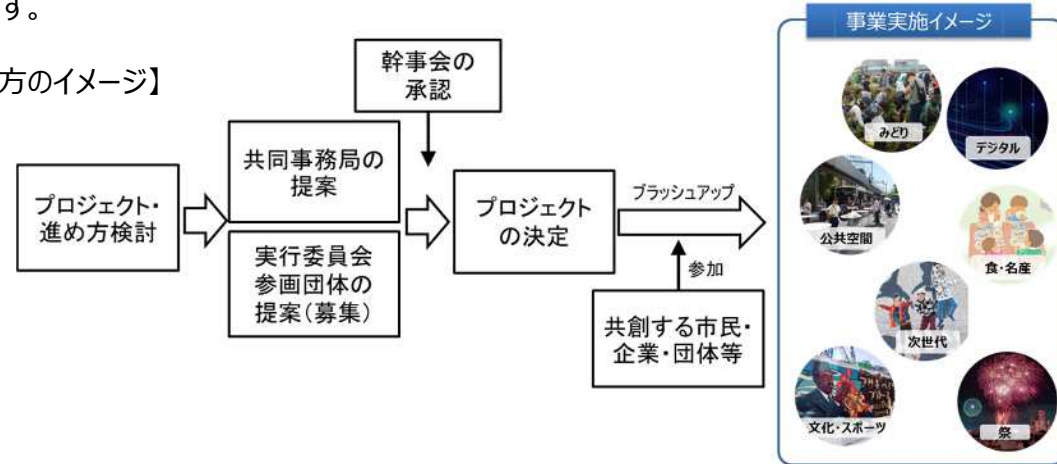
(3) ① 実行委員会主催事業について

【実行委員会主催のプロジェクトの実施】

実行委員会が主体となり、「Colors, Future! Actions」を体現する事業を実施

・共同事務局を中心に、実行委員会参画団体とも連携し、さまざまなプロジェクトを検討していきます。事業実施の公平性を確保しながら、官民連携で事業を推進し、「Colors, Future! Actions」を体現する取組を展開していきます。

【進め方のイメージ】



【市民、企業、団体等の機運醸成】

実行委員会において推進する取組

- ・「Colors, Future! Actions」を促すさまざまなセミナーや交流イベントなどを開催
- ・市民、企業、団体等が参加・発表、誰もが楽しめる場として、「フェス&カンファレンス」を企画・実施

【フェス&カンファレンス】

「Colors, Future! Actions」のショーケースとして、また、川崎の可能性を共有し、未来づくりへの参加のきっかけとなる場として開催します。
・令和5年度 プレ事業として実験的に開催し、令和6年度 本格開催を目指します。
※令和7年度以降も継続できるよう、スポンサー収入の一部導入



【広報等の実施】

実行委員会が主体となって、さまざまな媒体を通じた記念事業の広報により、市民、企業、団体等の認知・理解を図り、「Colors, Future! Actions」への参加を促します。

(4) ② 川崎市主催事業について

川崎市が主体となり、さまざまな施策に取り組む中で記念事業を実施

- ・川崎市の各局区が所管する既存の施策・事務事業に取り組む中で、市制100周年を契機として、一步先を目指す+aのチャレンジを行うものです。
- ・実行委員会では、事業によっては川崎市の各局区の事業と効果的な連携を図ります。

【参考：令和5年度の取組】(59事業) 【別紙】事業一覧参照

○「機運醸成に向けたPR事業」の推進(8事業)

市制100周年に向けて、既存の事業や取組を活用したPR活動を展開し、機運醸成を図る取組

○「ひとりひとりの好きをつなぎ、かけ合わせて、一緒に川崎を育てる」取組の推進(25事業)

- ・障害者や子どもなど誰もがスポーツを楽しめる未来づくりに向けた取組
- ・まちづくりが進行中の登戸駅周辺の公共空間を活用し、多様な主体と連携してさまざまな体験ができる場を創出する取組 など

○「たくさんの人たちに感謝を抱きながら、あたらしい川崎を未来の人たちへつなぐ」取組の推進(16事業)

- ・これまでの環境関連の記録写真等をデジタルアーカイブ化し、過去と未来を考える取組
- ・「ふるさと資産・遺産」を活用し、多摩川の歴史文化を子どもたちに伝える取組 など

○「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」取組の推進(10事業)

- ・子どもと大人が「みどり」を一緒に育み、地域への愛着やつながりを創出する取組
- ・市民と連携した栽培体験等を通じて、古くから伝わる郷土野菜を次世代に継承する取組 など



公共空間を活用した体験



「みどり」でつながる様子

(5) ③ 実行委員会参画団体主催事業について

実行委員会参画団体が自ら事業を実施し、市制100周年を盛り上げるとともに、「Colors, Future! Actions」の取組が市全体に広がっていくよう機運醸成を図ります。

実行委員会において推進する取組

- ・実行委員会参画団体が相互に交流し、共創につながるイベントなどを定期的実施
- ・公式WEBサイトなどにより、取組状況が把握できる仕組みをつくとともに、効果的にPR
- ・記念事業を検討するヒントとなるよう、「アイデアの種」や事業の取組状況などのさまざまな情報について、実行委員会公式WEBサイトやメールマガジンなどを通じて提供 ※アイデアの種：参考資料参照

(6) ④ パートナー主催事業について

記念事業の趣旨に賛同する市民や実行委員会に参画していない企業・団体等が自ら事業を実施し、市制100周年を盛り上げます。

実行委員会において推進する取組

- ・多くの市民、企業、団体等に、市制100周年のコンセプトを認知いただけるよう広報
- ・市民、企業、団体等が相互に交流し、共創につながる仕掛けを実施

【パートナー制度】

市民や実行委員会に参画していない企業、団体等が記念事業に参加できる仕組みとして「パートナー制度」を設けます。

- ・Actionの実施イメージ
- ・普段の取組に記念事業の要素(+a)を加え、ロゴマークやActionテーマラベルを付して実施
- ・パートナー事業の紹介
- ・公式WEBサイト等のメディアで取組内容等を紹介、記念事業期間終了後作成予定の記録集に掲載
- ・手続き等について
- ・公式WEBサイトから実行委員会事務局にパートナー事業を登録 ※制度詳細、要綱等を定めて御案内

(7) 「Colors, Future! Actions」の展開イメージ

令和5年度から段階的に事業を展開し、徐々に市民、企業、団体等の認知・理解を図ります。令和6年度にさまざまなアクションを創出し、100周年記念事業後も「Colors, Future! Actions」の取組が続くよう、進めていきます。

